

未来をしあわせに生き抜く力を育てます。

しあわせ、みつける、かなえる。

新聞記事情報

❖ 中日新聞 尾張版

平成24年9月6日(木)掲載



SHUBUN

地域研究センター設立

一宮女学園 産学連携や活性化支援

地域研究センター設立

一宮女学園 産学連携や活性化支援

修文大などを運営する学校法人一宮女学園（一宮市）は、一宮市をはじめ周辺地域のまちづくりに関わる研究の拠点となる「修文地域研究センター」を設

立した。地元企業と学生の産学連携による商品の開発や商店街活性化の支援活動を進める。センターの目的は、地域活性化構想への提言や支援、中部地方の食文化の研究、企業との共同による商品開発などが柱。

センターは、一宮市のまちづくりに提言をのまらねばならぬ。三重大の児玉克哉副学長（社会学）

が呼び掛けて実現。三日に発足し、修文大内に設置した。児玉さんが客員主席研究員となり、地元企業経営者ら七人で構成する。センターがプロジェクトを企画し、学園が運営する修文大のほか同短期大学部、高校、幼稚園の教職員や学生、生徒たちが活動に関わる。

企業の新商品に学生たちが提案や市場調査などで協力したり、地域活性化の催しを支援したりするという。

児玉客員主席研究員は「経済と市民活動を結び付けて町を元気づけたい」と話している。

（安福晋一郎）